

## 令和3年度 事業系食品ロス等実態調査業務委託 委託者：豊橋市

【目的】 豊橋市内の食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食産業（以下「食品関連事業者」）における食品廃棄物量、食品ロス量、食品ロスの内容等の発生状況のほか、食品関連事業者が食品ロスの削減のために行う取組内容等の実態調査を行い、現状や課題を整理し、食品ロスの削減及び発生抑制に関する取組を提案した。

### 【業務内容】

#### ①食品関連事業者におけるアンケート調査の実施

- ・豊橋市内の食品関連事業者に対して、委託者から提供されたデータベースを活用し、郵送発送・郵送回収の方法でアンケート調査を行った。有効発送数は2,614事業所であり、782通（回収率30%）から回答を得た。

- ・食品廃棄物等は、74%で発生し、その発生量は食品製造業で最も多く、全体の85%を占める。
- ・食品ロス等の削減の取組は、約6割で行われている。
- ・自治体等からの必要な支援策では、約半数が「食品ロス問題の周知・啓発」を挙げている。

#### ②食品ロス発生の実態等を踏まえた検討

- ・アンケート調査の結果等を踏まえ、食品ロスに関わる現状や課題を整理し、他自治体や他企業等の事例調査を行うとともに、関係機関へのヒアリング調査を実施した。

### 【取組の提案】

#### ①地域の動き・全国の動き

- ・本市の取組
  - ・豊橋市バイオマス利活用センター事業（家庭用生ゴミのメタン発酵によるエネルギー化）
- ・食品ロスの利活用
  - ・東三河フードバンクによる賞味期限切れ間近の食品の配布等
- ・全国の食ロス削減の取組事例
  - ・自動販売機等を活用した食ロス削減の取組
  - ・在庫食品の消費期限切れ間近でのディスカウント化の取組
  - ・災害備蓄品の再流通の取組
  - ・DXを活用した食品ロス削減の取組
  - ・廃棄食品などを利用したリサイクル
  - ・畑で生まれる隠れ食品ロスの乾燥野菜化
  - ・長期間保管できる食品づくり

#### ②提案

- ・食品ロス削減活動の推進 : フードバンクのPR、フードドライブ拠点づくり  
消費者向け啓発活動（手前取り運動等）等
- ・食品ロス削減ビジネスの支援 : 規格外品の活用 / DXを利用した食品需要予測 / 食品廃棄物の堆肥化・飼料化  
長期間保管できる食品開発支援等